

山口市女性活躍応援地域創出事業【岐阜県山口市】

地域の実情と課題

- ・山口市の人口は若い世代を中心に毎年減少傾向にあり(平成27年)、一方で山口市の産業基盤の約3割を占める製造業の製品出荷額はここ数年増加傾向にあり、地元企業においては人口減少に伴う人材確保が喫緊の課題となっている。
- ・平成27年度以降、主婦インターンシップやロールモデル紹介冊子の作成等女性の再就職やキャリアアップを支援してきたが、受け皿である事業者側の環境が整っておらず、女性の目線もより高待遇な市外企業に向けられているなどの課題が見られた。

事業の特徴

- ・県内外の幅広い企業の先進事例を調査分析した上で、アンケートやヒヤリングを通して市内企業の現状や具体的な課題を把握し、市の実情に合わせた中小企業でも取り組みやすい水準からスタートする指標を作成することで、市内企業の自主的な取り組みを後押しする。
- ・また、指標は成熟度別に段階を3つ設けることで、最終的に岐阜県の上位認定制度の基準を一部準用することで、着実にステップアップが可能な設計とする。
- ・来年度創設予定の山口市版認定制度の認定基準として活用することで、取り組み企業へのインセンティブを提供し、指標の活用を促す設計とする。

事業の効果

- ・先進企業ヒヤリングについて21社から経営者21、従業員34の回答を得たほか、市内企業のアンケート回収数では、目標30社に対し59社と目標の約2倍を回収でき、近隣地域の最新状況や市内の現状について情報を蓄積できた。
- ・市内企業から、「国や県の認定制度はハードルが高く認定を断念したが、市がステップとなる認定制度を作るのであれば前向きに検討したい」という声が聞かれたほか、市制度への具体的な要望もあり、女性活躍・WLBの取り組みの周知や啓発になった。

関連する目標数値

先進企業のヒヤリング事業者数: 20社以上→実績21社(サンプル数55)、アンケート回収による指標による成熟度分析企業数: 30社以上→回収59社

目的・目標

- ・女性活躍等に関する県内外先進企業の分析及び市内企業の現状把握を行うとともに、女性活躍に関する成熟度指標を作成・公開し、事業者の就労環境改善の支援を行う。指標は県の認定制度も視野に入れた内容とすることで、来年度創設予定の山口市版認定制度に活用する。

数値目標

先進企業のヒヤリング事業者数: 20社以上、指標に係るアンケートの配布による啓発数: 200社以上、アンケート回収による、指標による成熟度分析企業数: 30社以上、指標の項目数: 15項目以上

連携団体

【山口市】(広報、企業支援担当課)

【岐阜県】(岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業認定)

【山口市女性活躍推進協議会】(学識経験者、山口市商工会、地元企業、山口市自治会連合会、山口市教育委員、山口市人権擁護委員)

今後の課題

- ・先進企業ヒヤリングでは柔軟な休暇・休業制度や時間外労働の削減などの整備が多くあげられ、市内企業のアンケートにおいても、同項目は比較的实施されていることがわかった。一方で、社内における周知や計画の策定、社内研修などは進んでおらず、経営者の意識改革が必要である。
- ・今回作成した指標が積極的に活用されるよう、来年度創設予定の山口市版認定制度に指標を組み入れるとともに、今回収集した情報やニーズを検証しながら、ステップアップ支援やインセンティブの設定内容など、市内企業のモチベーションを高める認定制度の設計を行う必要がある。

事業の概要

1. 県内先進事業へのヒヤリング調査及び指標案の作成

●「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業認定制度」に認定されている県内の中小企業等について、経営者及び従業員にヒヤリング調査し、女性活躍に関する先進事例や取り組みの過程を洗い出し、女性が企業で活躍できる成功要因を分析した。

●県エクセレント企業認定制度の認定要件をベースに、分析結果及び当市の産業特性を踏まえ、成熟度(3段階)を自己判定できる指標案を作成

Point

- ・ヒヤリングは経営者及び従業員の双方に実施。
- ・重要度、効果、課題、従業員評価の要素ごとに点数化して可視化・分析。
- ・指標は県の制度をベースとすることで、県制度を視野に入れた設計とした。

2. 市内企業へのアンケート調査・追加ヒヤリング調査

●1.で作成した認定指標案の有効性を調査するため、市内企業・事業所200社に対し指標案及び山県市版認定制度の創設を想定したインセンティブに関するアンケート調査を実施し、認定指標案における確認項目の採用の可否並びに適切な認定基準を評価した。

Point

- ・アンケートは、当市の産業構造を反映させるため、業種及び企業規模による層化抽出法を採用。
- ・調査結果は、重要度及び難度の2視点から分析。

3. 指標のブラッシュアップ及び公表

●2.で実施したアンケート調査の深堀を目的に、アンケート回答企業の中から7社に対して追加ヒヤリング調査を実施し、指標案のブラッシュアップを実施、指標を完成させた。

●完成した指標はアンケート結果とともに市HPにおいて公表。

Point

- ・追加ヒヤリング調査においては、制度創設を想定したインセンティブについても意見要望等を聴取。

・公開ページ <https://www.city.yamagata.gifu.jp/shisei/danjokyoudou/p-11836.html>

ヒヤリング企業数

目標	実績
20社	21社

アンケート送付企業数

目標	実績
200社	200社

成熟度分析企業数

(アンケート返送企業数)

目標	実績
30社	59社

指標の認定項目数

目標	実績
15項目	19項目